

全鉄連だより

平成 29 年 8 月号 (第 13 号) 全国鉄鋼販売業連合会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 6F 電話 03-3808-2350 FAX03-3808-2358

6 月金属課ヒアリング

堅調な需要動向だが末端まで波及せず

6 月 27 日 (火) 午後 3 時より経済産業省内で金属課ヒアリングが開催された。席上、阪上会長から「需要面では悪くなっている分野はない。土木は変わりなく、建築は例年、4～6 月低調だが前年並の水準で、7～9 月は増加するだろう。自動車は高水準で 7～9 月も持続する。建産機は昨年下半年から良くなっている。値上げ転嫁の進捗度は 8～9 割で、滞っている」と概況を述べたのに次いで「大型物件を受けているゼネコンやファブは能力に対し需要がマッチしており、無理な受注はしていない。一方、中小建築業者、R グレードもしくはノーグレードファブは需要増の恩恵を受

けていない。流通から高く買ってくれるわけでない」と需要が末端まで降りていない実態を指摘していた。また、予てから要望している事業継承、外国人労働者の雇用、各種補助金の 3 点について言及し、再度、要望していく方針を述べていた。金属課からは「マンション価格が上がっているが、売手市場になっているのか」との質問があり、全鉄連は「そのような話はあまり聞いていない。建築需要に盛り上がりを感じていない」と返答した。また、原料炭の高騰は 3 月にオーストラリアでサイクロンの被害にあったことが影響しているとの発言があった。

7 月鉄流懇

需要増加にあっても手控える設備投資・人員拡充

7 月 26 日 (水) 午後 2 時 30 分より茅場町「鉄鋼会館」で鉄流懇が開催された。当日、全鉄連の阪上会長は「メーカー値上げに対する転嫁がどの品種でも未達になっている。これまでは過去の仕入の Spredd で収益を上げてきたが、これからは値上がり玉に入れ替わる中で市況は頭打ち、更なる転嫁は難しい。流通は Spredd の維持に苦慮している」と現況について所見を述べていた。経済産業省からは「海外経済の不確実性を反映して、輸出に不透明感がある。中国では内需好調を受け、月別の国内生産が過去最高を記録した。今後、内需が鈍化すると、国内生産量が同規模であれば、どうなるのか。他国に輸出することになるのか。中国の動向に注視が必要と思料」と海外動向について述べ、挨拶とした。鉄流懇・橋本会長からは「3ヶ月前と比べて環境に大きな変化はない。4～6 月はメーカーの定期修理前の在庫の積み増しもあったが、流通は慎重に市場を見て発注している。メーカー側も慎重に受注しており、更に適正

な形で商売ができる環境にしたい」と製販双方の現状認識に大きなずれが無い点を強調した。また「大規模な能力拡大がない中では人手や加工能力は決まっており、ダイナミックにモノが動かないので価格も動きにくいと思う。それによりボリューム感が縮小している店売りマーケットで顕著に現れ、物量が動かないという状況になっているのかもしれない」と現状認識及び日々の商いで堅調さを保つ必要性を訴えた。

同日、全鉄連の阪上会長は都内で「メーカーは収益改善のため追加値上げを表明している。紐付き・店売りの値上げ幅に乖離があれば、流通は仕入価格上昇分の販価への転嫁が難しくなる」と警戒感をにじませる所見を述べた。

ミルシート有料化断念

詳細は同送の 2 文書参照

鉄流懇に先立って開催された常任理事会において、懸案となっていたミルシート取り扱いについ

て協議した。本件については公正取引委員会の担当官と2度面談し、①有料化②金額の設定③ワレット単位の徴収④倉出しのみ対象とする、との方針に則り会活動として押し進める趣旨を説明した。これに対し同委員会からは、有料化とそれに付随する徴収方法の設定を全鉄連のような事業者

団体が行なうことは問題があるとされた。よって、「ミルシート取り扱いガイドライン策定取り止め」「無駄なミルシート発行を排除」の両文書を会員各位に発出するにより、全鉄連の指針を明らかにし、理解を求めることとした。詳しくは会報と同送の文書ご参照ください。

流動調査 6月実績 仕入・販売、前月比と前年比の双方で1割内外増加

6月実績では前月比で仕入、販売共に1割以上の増加となった。前年比でも仕入、販売共に高い増加率を見せている。在庫は5月に続き減少。前年比では僅かに70トン増えて、横這い。在庫率は販売著増、在庫減少により108.9ポイントと下降した。品種別に見ると仕入では前月比で全品種増加しており、なかでもコラム大幅増加、異形棒鋼が2割強増加、C形鋼は1割強増加であった。前年比ではC形鋼以外増加しており、コラム、異形

棒鋼が1割以上増加している。販売でも前月比で全品種増加し、コラム、異形棒鋼は2割以上の増加となっている。前年比ではC形鋼以外増加しており、コラム、異形棒鋼が1割以上の増加を見せている。在庫は前月比で異形棒鋼が1割以上の減少、山形鋼、溝形鋼、C形鋼の3品種は微増となっている。前年比では異形棒鋼、溝形鋼、コラムの3品種が増加している。

(単位：トン、%)

	仕入量	前月比	前年比	販売量	前月比	前年比	在庫量	前月比	前年比
異形棒鋼	92,847	120.3	111.5	95,534	122.8	114.6	17,717	86.8	94.7
山形鋼	26,245	106.5	109.1	26,098	108.1	102.8	52,389	100.3	102.3
溝形鋼	17,350	106.2	100.6	17,048	106.8	105.0	35,085	100.9	94.8
H形鋼	53,371	103.2	108.8	55,792	106.1	109.0	91,877	97.4	102.9
コラム	9,516	142.9	118.0	9,838	125.4	114.0	21,587	98.5	95.3
C形鋼	5,679	110.6	93.5	5,646	109.2	93.4	9,966	100.3	103.0
合計	205,008	112.9	109.2	209,956	114.4	110.0	228,621	97.9	100.0

流動調査 7月実績 前月の反動か、販売減少

7月実績では前月比で仕入微減、販売減少となった。前年比では仕入増加、販売減少。在庫は増加で6月は減少、この2ヶ月で同等の増減だったので大きく動いていない。前年比では増加している。在庫率は販売減少、在庫増加により116.5ポイントと若干上昇した。品種別に見ると仕入では前月比でH形鋼が1割以上増加、山形鋼も増加し

ており他4品種は減少。前年比ではC形鋼以外増加しており、山形鋼、溝形鋼が著増している。販売では前月比で山形鋼、溝形鋼、H形鋼が増加、異形棒鋼、コラムは著減。前年比では形鋼3品種が増加、異形棒鋼微減、コラムは1割弱減少している。在庫は前月比で溝形鋼微減、C形鋼減少、それ以外は増加。前年比では全品種増加。

(単位：トン、%)

	仕入量	前月比	前年比	販売量	前月比	前年比	在庫量	前月比	前年比
--	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

異形棒鋼	86,000	92.6	102.0	85,318	89.3	99.7	18,399	103.8	105.4
山形鋼	26,958	102.7	115.9	26,044	99.8	106.1	53,303	101.7	106.8
溝形鋼	17,267	99.5	127.6	17,452	102.4	107.3	34,900	99.5	101.9
H形鋼	59,752	112.0	109.9	57,115	102.4	102.9	94,514	102.9	107.2
コラム	9,458	99.4	106.5	8,767	89.1	90.2	22,278	103.2	101.9
C形鋼	5,280	93.0	94.8	5,439	96.3	93.0	9,807	98.4	104.4
合計	204,715	99.9	107.8	200,135	95.3	101.4	233,201	102.0	105.5

(注) ①調査開始、昭和48年4月。②調査対象企業 東京31、大阪21、愛知15、計67社。③平成12年4月、本調査の対象品種見直しを行い、プレーン、不等辺、I形鋼、デッキ・キーストンを除外し、コラムを追加した。

7月業況アンケート結果 収益、需要見通しとも良好

多くのみなさまの声を反映するためアンケート調査にご協力を！

この調査は全鉄連理事・幹事会社151社を対象に毎月実施している。数量調査ではないが、鋼材市場の現状が結果に現れている。回答76社(50.3%) *DI=A×2+B×1-D×1-E×2

問1 6月の売上数量・金額の前年同月比

	A10%以上増	B5%以上増	Cほぼ横ばい	D5%以上減	E10%以上減	計・DI	前回実績
売上数量(%)	6(8%)	20(26%)	33(43%)	11(15%)	6(8%)	76・+12	77・+5
売上金額(%)	18(24%)	20(26%)	28(37%)	6(8%)	4(5%)	76・+55	77・+22

荷動き良好で数量、金額とも前年を上回る。

問2 6月の企業収益状況

	A黒字	B若干黒字	C収支トントン	D若干赤字	E赤字	計・DI	前回実績
収益状況(%)	27(36%)	23(30%)	15(20%)	8(11%)	3(4%)	76・+83	77・+44

前年6月のDIは+66、前々年は+44。

問3 7月販売量の前月比

	Aかなり増加	Bやや増加	Cほぼ横ばい	Dやや減少	E減少	計・DI	前回実績
公共建設		11	38	8	3	60・-5	57・-10
民間建設	1	19	39	6	1	66・+20	64・-25
自動車	1	9	31	3		44・+18	41・+20
その他需要家		14	46	9		69・+7	68・+15
仲間取引		4	41	14		59・-17	61・-28
計・比率	2(1%)	57(19%)	195(65%)	40(14%)	4(1%)	298・+4	291・+4

6月の横這い基調ですいい。

問4 8～10月の需要動向予測

	A増加	B微増	Cほぼ横ばい	D微減	E減少	計・DI	前回実績
需要動向予測	4(5%)	44(60%)	23(31%)	3(4%)		74・+66	76・+72

需要は堅調さを持続。前年7月DIは+47、前々年も+47。

8月業況アンケート結果 秋需を控えて一服状況

この調査は全鉄連理事・幹事会社151社を対象に毎月実施している。数量調査ではないが、鋼材市場の現状が結果に現れている。回答77社(51.0%) *DI=A×2+B×1-D×1-E×2

問1 7月の売上数量・金額の前年同月比

	A10%以上増	B5%以上増	Cほぼ横ばい	D5%以上減	E10%以上減	計・DI	前回実績
売上数量(%)	13(18%)	8(11%)	35(47%)	11(15%)	7(9%)	74・+12	76・+12
売上金額(%)	15(20%)	18(24%)	27(37%)	9(12%)	5(7%)	74・+39	76・+55

数量はほぼ前年並みの水準。金額でも増加だが、前月よりはダウン。

問2 7月の企業収益状況

	A黒字	B若干黒字	C収支トントン	D若干赤字	E赤字	計・DI	前回実績
収益状況(%)	14(19%)	27(37%)	23(31%)	9(12%)	1(1%)	74・+59	76・+83

前年DIは+66、前々年は+51。収益確保だが転嫁未達で先々に不安。

問3 8月販売量の前月比

	Aかなり増加	Bやや増加	Cほぼ横ばい	Dやや減少	E減少	計・DI	前回実績
公共建設		9	30	17	1	57・-18	60・-5
民間建設		19	36	7	1	63・+16	66・+20
自動車		5	30	2	2	39・-3	44・+18
その他需要家		11	43	9	3	66・-6	69・+7
仲間取引		6	38	14	1	59・-17	59・-17
計・比率	0(0%)	59(18%)	177(62%)	49(17%)	8(3%)	284・-5	212・-23

製造業関連は一進一退、店売りは依然不調。

問4 9～11月の需要動向予測

	A増加	B微増	Cほぼ横ばい	D微減	E減少	計・DI	前回実績
需要動向予測	9(13%)	42(59%)	17(24%)	3(4%)	0(0%)	71・+80	74・+66

需要増加の手応えあり。前年8月DIは+67。

各地区団体活動報告

東京鉄鋼販売業連合会(齊藤栄一会長)

①8月7日(月)浦安鉄鋼会館において第8回鉄鋼流通3団体合同野球大会の主将会議を開催した。参加26チーム。当日は組み合わせ抽選もを行い、9月3日(日)より試合が始められている。

②8月21日(月)茅場町・ハロー貸し会議室で「働き方改革の現場」と題する講演会を行なった。講師は小国幸司氏(ネクストリード(株)代

表取締役)。約50名が聴講した。

大阪鉄鋼流通協会(阪上正章会長)

6月8日(木)～19日(月)の期間に大阪・鐵鋼会館で品種別部会を順次開催。OSAマーケット委員会を構成する、形鋼・棒鋼・薄板・厚板・パイプの5つの品種部会を隔月開催し(形鋼のみ毎月開催)、各社の現況報告や問題点につき意見交換を行っている。

東北鐵鋼販売業連合会（斉藤芳郎会長）

①8月28日（月）同会青年部会は仙台市内「仙台パルコ2アロハビアガーデン」で納涼暑気払い開催。17社31名が参集した。

②9月2日（土）仙台市内「熊ヶ根コミュニティ広場」で第37回東北鉄連親睦ソフトボール大会を実施。参加6チーム。当日は選手、応援含め約100名が参集した。

静岡県鉄鋼販売連合会（近藤千秋会長）

7月20日（木）役員会を静岡市内「グランディエール・ブケトーカイ」で開催。

岐阜県鐵鋼会（杉山忠国会長）

6月29日（金）～7月4日（火）の5泊6日の旅程でルーマニア研修を実施。JTEKT光洋ルーマニアを工場見学した。また、同国閣僚とのヒアリングを行い、意見交換した。会員8社8名が参加。

新潟県鉄鋼販売業連合会（渋井信之会長）

8月7日（月）新潟市内で「若手の会」を開催した。この催しは今回で4回目となり16社43名が出席した。

福岡鉄鋼販売業組合（竹田奉正理事長）

8月23日（水）福岡市内で恒例の納涼親睦会を催し、会員会社から営業スタッフら約30名が参加した。

三重県鉄鋼特約店組合（須藤清昭理事長）

6月29日（金）桑名市内「日の出」において総会を開催した。

広島県鉄鋼連合会（緑博康理事長）

①6月16日（金）広島市内「拍拍飯店」で定時総会を開催。その席上、会名を広島県鉄鋼連合会に改称した。

②7月28日（金）広島市内「ヒロデンボウル」で第27回ボウリング大会を開催した。11社49名が参加。

石川県鉄鋼会（南昭武会長）

7月3日（月）石川県地場産業振興センターで定例会を開催した。

岡山県鋼材クラブ

7月7日（金）夏期例会を開催。

富山県鐵鋼会（井上敏夫会長）

7月10日（月）夏期懇親会を砺波市庄川町「鮎の里」で開催した。

（了）